

性質別歳出 用語の説明

- |         |                        |         |                       |
|---------|------------------------|---------|-----------------------|
| ▶ 人 件 費 | 職員の給与、議員の報酬などの経費       | ▶ 維持補修費 | 施設の維持補修のための経費         |
| ▶ 扶 助 費 | 高齢者福祉や児童福祉など社会保障に必要な経費 | ▶ 補助費等  | 各種団体への補助金や負担金などの経費    |
| ▶ 公 債 費 | 借金返済のための経費             | ▶ 投資的経費 | 公共施設の整備、改修に必要な経費      |
| ▶ 物 件 費 | 消耗品や備品購入、委託料などの経費      | ▶ 積 立 金 | 将来の財源不足や支出に備えて積み立てる経費 |
|         |                        | ▶ 繰 出 金 | 特別会計へ支出するための経費        |

一方、《補助費等》では、病院事業会計への負担金が大きいです。前年度と比べ5億6,482万円の減額となったほか、《繰出金》も下水道事業費が縮小したことから1億9,033万円の減額となりました。

これを性質別に分析すると、子ども手当の創設や公債費の繰り上げ償還をおこなったことより《義務的経費》において8億5,482万円の増額、国の経済対策事業で普通建設事業費が伸び《投資的経費》が5億9,980万円の増額となりました。また、選挙費や除雪経費などの伸びにより《物件費》が1,786万円の増となったほか、減債基金、特定目的基金への積立により《積立金》が8億2,374万円の増額となりました。

歳出

歳出決算額は2022億2,285万円で、前年度と比べ15億574万円(5.6%)の増額となっています。

実質6億円の黒字決算

歳入歳出差引額は、11億7,300万円で、このうち23年度に繰り越した事業に必要な財源を差し引いた実質収支は、6億731万円の黒字決算となりました。

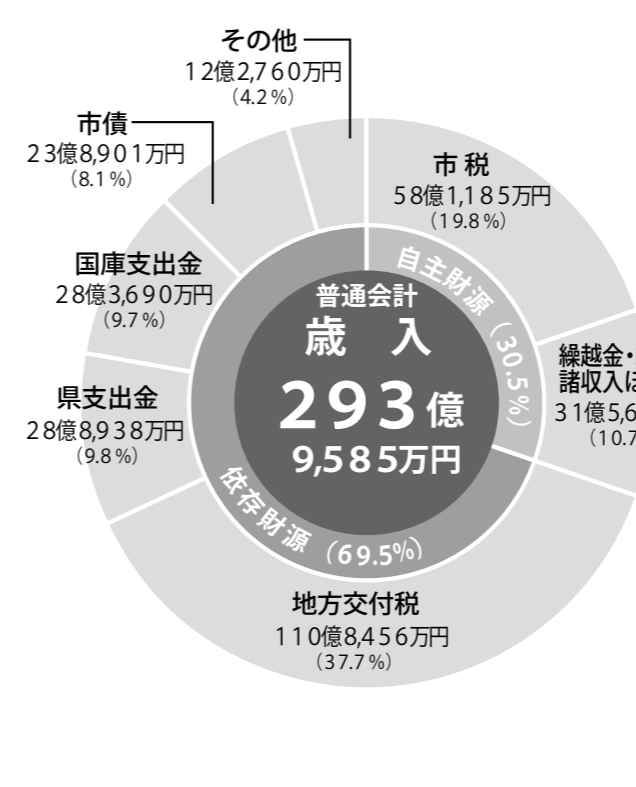
今後とも国や県の動向を注視しながら、引き続き、効果的な財政運営を念頭に、限られた財源の中で、住民福祉の向上に取り組んでまいります。



平成22年度

決算

図財政課 ☎(25)8111



※おことわり…表やグラフの金額は、1万円未満を切り捨てているため、合計が一致しない場合があります。

歳入

平成22年度の普通会計の歳入決算額は、293億9,585万円で、前年度に比べ16億1,764万円(5.8%)の増額となっています。歳入全体の75%を占める一般

財源は、220億8,249万円で、このうち、臨時財政対策債を含む経常一般財源(毎年経常的に収入される一般財源)は、186億2,975万円で、前年度と比べ8億5,606万円の増額となっています。これは、地方交付税が5億141万円増額となったことや、償還費用が後年度の地方交付税に算入される臨時財政対策債が5億3,575万円の増となったことがあげられます。また、病院整備事業に対する公共投資臨時交付金など、国の財源を伴う県支出金が12億5,564万円増と大幅な伸びとなっている反面、市税については6,879万円の減で、特に個人市民税の減収が大きく影響しています。

国の経済対策に歩調を合わせながら、効率的、効果的な財政運営に努める！

平成22年度、どのような事業や施策に予算が使われたのか、その概要をお知らせします。